

マンホール蓋（汚水・雨水）のデザイン更新について

現在、町田市で使用しているマンホール蓋のデザインは、1989年（平成元年）に作成したもので使用開始から約30年経過しています。このたび、マンホール蓋（汚水・雨水）のデザイン更新をするにあたり、大学連携事業を活用したデザインの募集等を行いますので、報告いたします。



現在のマンホール蓋（左：汚水、右：雨水）

1. 目的・効果

日本全国には約1,500万枚のマンホール蓋が設置されており、そのデザインは12,000種類以上にのぼるといわれています。近年では、自治体がマンホール蓋を「路上の文化物」と捉え、デザインで「ご当地モノ」を紹介する動きも活発化しています。

町田市においても、市の鳥・花であるカワセミやサルビアなどの地域資源や衛生的な住環境を提供する下水道事業に関心を持っていただくことを目的として、「町田市ならではの魅力を発信するマンホール蓋」へデザインを変更いたします。

60センチのフレームに町田市の魅力を詰め込むことで、下水道に対して持たれている「汚い」「臭い」等のネガティブなイメージを払拭するとともに、観光や地域活性化への活用も期待できます。

2. デザインの選定

デザインの選定に際し、大学連携事業を活用しデザイン案を募集し、市民等からの投票（電子メール、はがき等）によってデザインを決定いたします。

3. 新デザインマンホールの製作・設置

新デザインのマンホール蓋完成時（2018年12月頃）に、PRのシンボルとして、市庁舎周辺及び町田駅周辺に汚水・雨水各1箇所のカラーマンホール蓋（計4箇所）を設置いたします。市内約67,000箇所に設置されているマンホール蓋については、老朽化等の交換に併せて順次更新していく予定です。

4. その他

デザイン性のあるマンホール蓋をカードにした「マンホールカード（252自治体293種発行・2017年12月9日現在）」の導入に向けても検討していく予定です。